

天然記念物



埼玉の自然を読み解くカギ



氾濫原の自然

たしまがはら さいたま市
田島ヶ原 さいたま市
サクラソウ じせいち
自生地

荒川は度々氾濫し、それによって氾濫原の草原の環境が保たれてきました。開発等により草原環境は減少しましたが、田島ヶ原には、サクラソウをはじめとした、氾濫原特有の植生が残っています。



大きくなりすぎた木を伐って、若返りさせる事業、進行中！

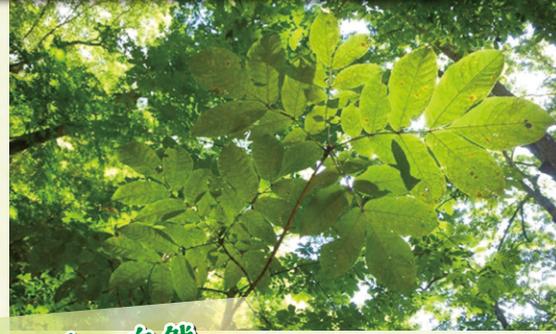
へいりん じけい だいりん 新座市
平林寺境内林

古くから薪炭に利用されてきたコナラ等を主体とする、「武蔵野の雑木林」の典型的な姿を残す社寺林です。



武蔵野の雑木林

おおやまざわ りん 秩父市
大山沢のシオジ林



山地の自然

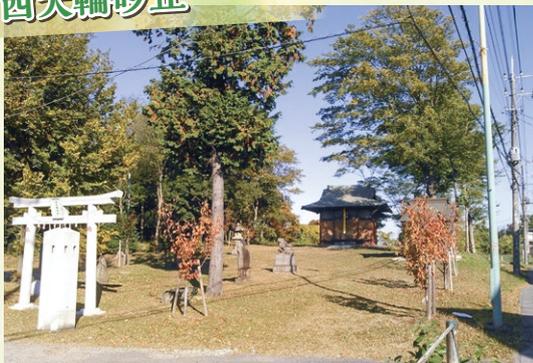
溪流沿いに発達する「溪畔林」。秩父地域には、太平洋側の冷温帯にみられる、代表的な構成のシオジ林が残ります。

埼玉に砂丘がある!?

なかがわてい ち かはん さきゅうぐん
中川低地の河畔砂丘群

榛名山や浅間山等の火山に由来する大量の砂が、季節風によって吹き溜められてできた、全国的にも珍しい内陸砂丘です。羽生市から越谷市にかけて点々と分布し、志多見砂丘（加須市）、浜川戸砂丘（春日部市）、西大輪砂丘（久喜市）、桑崎砂丘（羽生市）、高野砂丘（杉戸町）が指定されています。

にしおわ さきゅう 久喜市
西大輪砂丘



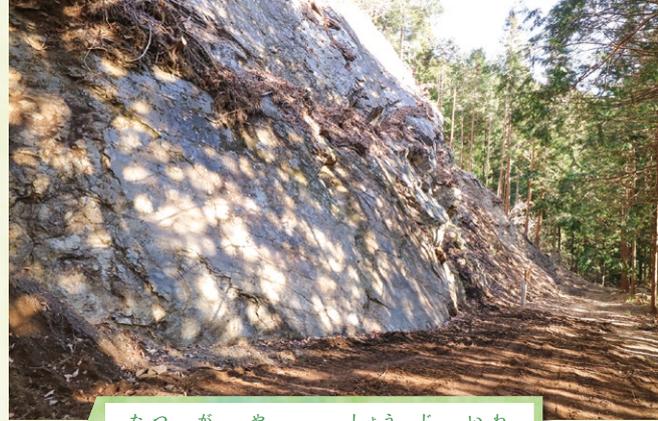
たくさんあるね



しだみ さきゅう 加須市
志多見砂丘



大地が動いた現場



龍ヶ谷の障子岩
(断層鏡肌) 越生町

断層ができた時の摩擦で、鏡のようにピカピカに磨かれた岩です。チャートという硬い岩石がここまで磨かれており、地球の営力の大きさを感じられます。



宝蔵寺沼ムジナモ
自生地 羽生市

食虫植物ムジナモの国内唯一の自生地です。一時は激減しましたが、近年は保全活動により個体数が順調に増加しています。



熊谷市教育委員会提供

元荒川ムサシトミヨ
生息地 熊谷市

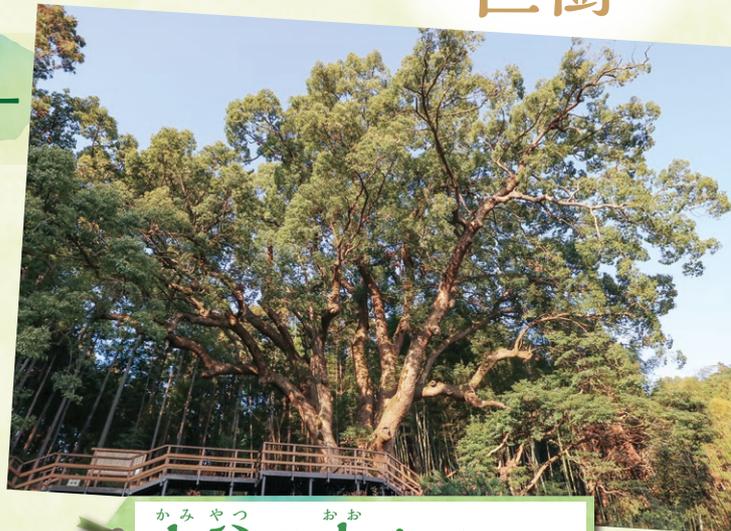
元荒川の上流部にのみ生息する、トゲウオ科の魚で、埼玉県魚としても親しまれています。水草で巣を作り、産卵・子育てをします。約400mの生息地にはムサシトミヨをはじめ多様な水中生物が確認されています。

ここにしかない生き物

でかー



巨樹



上谷の大クス 越生町

県内最大級の大きさを誇る、クスノキの巨木です。関東でこれだけの大きさになることは珍しく、現在も堂々たる姿を残しています。

埼玉は海だった!?

秩父市大野原産出パレオパラドキシア骨格化石



古秩父湾堆積層及び
海棲哺乳類化石群 長瀨町ほか

秩父が海だったころの地層と、そこから発掘された哺乳類の化石がまとめて指定されています。写真のパレオパラドキシアは、カバのような姿にみえますが、分類学的にはジュゴンなどに近い、不思議な動物です。

川本町産出カルカロドン・
メガロドンの歯群化石 長瀨町ほか



1200万年ほど昔の、大きな肉食性サメの歯の化石です。一個体分の歯がまとめて見つかることは珍しく、この化石から個体の大きさを推定することができました。